

科目名	アナウンスⅡ							年度	2025
英語科目名	AnnouncementⅡ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2 年次	必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員			教員の 実務経験			実務経験の 職種			
【科目の目的】									
ニュース原稿、テレビ番組MC、イベントMC、番宣原稿など、様々なジャンルのアナウンス原稿を実践する。									
【科目の概要】									
フリートークやインタビュー、原稿読みなど、いかにわかりやすく的確に内容を伝えていくかを学ぶ。									
【到達目標】									
アナウンス原稿を理解し、自ら注意点をチェックし、進行状況を意識しながら実践できる。									
【授業の注意点】									
放送現場の読みの技術は、様々な声の仕事に応用が可能な発音発声の基礎となるものである。 授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	マイク前で良い声で喋ることができる	良い声を作ることができる	大きな声が出せる	腹式呼吸ができる	腹式呼吸ができない				
到達目標 B	マイク前で聞き取りやすい発音で喋れる	聞き取りやすい発音で喋れる	標準語で話すことができる	アクセント辞典を理解して読むことができる	アクセント辞典を読んだことがない				
到達目標 C	誰に何を伝えたいか把握することができる	起承転結を把握することができる	漢字を理解し、台本を最後まで読むことができる	台本を最後まで読むことができる	台本を最後まで読むことができない				
到達目標 D	速度変化、抑揚、強調、間を使うことができる	抑揚をつけ、強調、間を使うことができる	適切な間を取ることができる	大切な言葉を強調して読むことができる	棒読みで喋る				
到達目標 E	タイムコードに合わせて喋ることができる	映像と台本を交互に見ることができる	タイムコードを確認することができる	映像をしっかりと見ることができる	映像を見られない				
【教科書】									

レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アナウンスⅡ			年度	2025
英語表記		AnnouncementⅡ			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自己PR－応用編	自己表現力の向上	自己PRのバリエーション	自己PRの応用力		
			状況に応じた自己PR実践	自己表現力を向上		
			自己PRのフィードバックと改善	PRスキルを修得		
2	アナウンス、アフレコの応用	アナウンスやアフレコ技術を強化	アナウンス原稿の読解	アナウンス技術を体得		
			アフレコの感情表現	アフレコの感情表現実践		
			実践練習	表現の幅を広げる		
3	オーディション原稿の実践1	オーディション原稿の理解	原稿の初見読み	原稿の読解力と初見対応力を向上		
			表現練習	表現力の向上		
			改善練習	改善力を養う		
4	オーディション原稿の実践2	演技の完成度を高める	ダメ出しを基にした再練習	繊細な表現力を身につける		
			表現力の強化	自己修正能力の強化		
			完成度の向上	演技の完成度を上げる		
5	オーディション原稿の実践3	収録に向けた準備	原稿の最終確認	収録に向けた適応力の向上		
			声の調整	声の調整の理解		
			収録準備	収録準備の理解		
6	オーディション原稿の実践4	収録の実践力の向上	収録ブースでの練習と本番	収録に対応できるスキルを修得		
			収録内容の分析	収録内容の分析を客観的に理解		
			改善点の抽出と練習	改善点を練習し収録の実践力を向上		
7	オーディション原稿の実践5	個性を活かした演技を磨く	配役に合わせた表現練習	柔軟な表現力を身につける		
			演技の実践	個性を活かした演技の実践		
			演技の比較	他者の表現を参考に応用力を磨く		
8	オーディション原稿の実践6	演技の完成度の追求	ダメ出しを受けての練習	演技の課題の改善		
			表現の強化	細部の表現の強化		
			振り返り	演技を振り返り完成度を追求		
9	オーディション原稿の実践7	応用的な場面設定での収録	シチュエーションを想定した演技	応用力を身につける		
			表現の改善	表現できるスキルを修得		
			応用的な収録	柔軟な対応力を高める		
	オーディション	演技の完成度を高め	ダメ出しを基にした再練習	繊細な表現力を身につける		

10	原稿の実践8	表現力の強化	自己修正能力の強化		
			演技の完成度を上げる		
11	オーディション原稿の実践9	収録に向けた準備	収録に向けた適応力の向上		
		声の調整	声の調整の理解		
		収録準備	収録準備の理解		
12	オーディション原稿の実践10	個性を活かした演技を磨く	柔軟な表現力を身につける		
		演技の実践	個性を活かした演技の実践		
		演技の比較	他者の表現を参考に応用力を磨く		
13	オーディション原稿の実践11	演技の完成度の追求	演技の課題の改善		
		表現の強化	細部の表現の強化		
		振り返り	演技を振り返り完成度を追求		
14	オーディション原稿の実践12	応用的な場面設定での収録	シチュエーションを想定した演技	応用力を身につける	
			表現の改善	表現できるスキルを修得	
			応用的な収録	柔軟な対応力を高める	
15	まとめと総合発表	オーディション原稿の収録のまとめ	収録内容の総復習	全体の進捗を確認	
			改善点の振り返り	改善点の把握	
			収録のまとめ	最終的な演技力の向上	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					